

平成21年7月18日

保護者の皆様へ

専修大学附属高等学校
校長 鈴木 高弘
養護教諭 羽生 佳代子

夏休み中の新型インフルエンザの対応についてのお願い

平素は本校の教育に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

春に発生した新型インフルエンザについては、都内でも、海外からの帰国者感染が確認されているほかに、学校での集団感染が多数発生するなど、感染者数が増加しています。

これから、夏休みに入りますが、部活動の合宿や対外試合、数学合宿など多くの行事が予定されています。また、海外への旅行を予定されているご家庭もあると思います。

夏休み中につきましても、下記のとおり、感染予防や健康管理に留意し、正確な情報収集と適切な対応をお願いいたします。

記

1 感染予防・健康管理について

夏休み中においても、規則正しい生活を心がけ、手洗い、うがい、咳エチケットなどにより感染を防ぎ、日常の健康管理に十分気をつけてください。

合宿等に参加する場合や登校する際に、発熱などの体調不良があれば、無理をせず登校を控え、必要により受診してください。

2 新型インフルエンザが疑われる場合について

かかりつけ医など一般の医療機関に電話連絡し、マスクを着用して受診してください。受診する医療機関がわからない場合は、最寄りの保健所の「新型インフルエンザ相談センター」(9時～17時)へ相談してください。

(夜間・土日・休日は03 - 5320 - 4509)

3 夏休み中に海外旅行される場合の対応について

渡航前から健康管理に留意し、渡航先では各国の検疫の指示に従ってください。

帰国時には、検疫ブースで定められた指示に従ってください。

帰国後、急な発熱や咳など、インフルエンザ様の症状が出た場合は、最寄りの保健所の「新型インフルエンザ相談センター」に相談し指示を受けてください。

海外からの渡航後の生徒が、帰国後7日以内に登校する場合には、渡航先と健康状態を、担任や部活動の顧問にお知らせください。

4 新型インフルエンザにかかった場合の対応について

生徒本人やご家族が発症した場合には、医療機関や保健所の指示に従ってください。夏休み中も病気や事故について、学校に連絡してください。

以上

平成21年5月18日

生徒、保護者の皆様へ

専修大学附属高等学校
校長 鈴木 高弘
養護教諭 羽生 佳代子

新型インフルエンザの対応について

すでにマスコミ等でご存じと思いますが、新型インフルエンザの国内発生が神戸市、大阪府でありました。神戸市周辺地区の学校の休校が決まり、行事等にも影響が出ています。

このことから、東京でも発生は免れない状況となってきました。本校でも、校門で学校訪問者に手指の消毒を始め、毎日手洗いうがいの徹底やマスクの携行、着用を伝えてきました。また緊急な学校閉鎖に備えて全生徒、教職員のためのマスクを準備致しました。ご家庭でも手洗いやうがい、外出時のマスク、健康観察を徹底していただきたいと思います。

以前配布しました、健康状態の記録カードを利用し、ご家庭での健康観察をお願いします。登校前、ご家庭で熱を測り、症状をみてください。熱、症状がある場合は登校させず、経過を見て地域の保健所または相談窓口にご相談ください。その際は、必ず学校にご連絡ください。

首都圏で発生が確認した時点で、文部科学省より学校閉鎖の要請があります。学校閉鎖等の対応策を緊急協議し決定後、連絡することとなります。なお、その際は不必要な外出は一切控え、自宅で課題学習に取り組んでください。

その後は、テレビ・ラジオ、本校のホームページなどの情報に注意し、クラス連絡網での連絡に備えてください。

学校閉鎖に備えて

授業で使用している教科書等（学校閉鎖の際、取り組む課題に必要なもの）は必ず毎日持ち帰り、学校に置いて行かないようにしてください。

学校が閉鎖されると校内に立ち入ることが出来ません。

感染したと思われる場合

病院で受診する前に**最寄りの保健所に電話**し、「新型インフルエンザ感染の可能性ある」と伝え指示に従ってください。（一般の病院で受診すると、感染拡大させてしまいます）

厚生労働省 相談窓口 03 - 3501 - 9031（午前9時～午後9時まで）
夜間、土、日、祝日の場合は東京都保健医療情報センター 03 - 5272 - 0303
学校 03 - 3322 - 7171
学校ホームページアドレス <http://www.senshu-u-h.ed.jp/>

平成21年5月1日

生徒、保護者の皆様へ

専修大学附属高等学校

校長 鈴木 高弘

養護教諭 羽生 佳代子

新インフルエンザの対応について

このたび、新型インフルエンザ発生として厚生労働省が宣言し、またWHOが警戒レベルをフェーズ5まで引き上げ、日ごとに世界同時大流行の体を擁してきました。日本での発症が時間の問題となる中、学校としてその準備と健康観察の開始を始めることのお知らせを致します。

弱毒型といわれているものの、最悪の状態を予想しての準備が必要です。日本発生が首都圏で確認した時点で、学校閉鎖をするよう都立校では通達がありますが、本校もこれに準ずる方針です。このゴールデンウィークで発生第1号や流行拡大の事態がみられれば、緊急に協議し、学校医、杉並保健所の助言をいただきながら、緊急に対応を決定し、ご連絡をすることとなります。

ゴールデンウィークの期間は、テレビ、本校のホームページなどの情報に注意し、さらにクラス連絡網での連絡に備え、外出を控えるようご理解とご協力をお願い致します。

裏面に流行時、学校閉鎖に備え、準備するものを載せましたので各ご家庭で早めに用意していただきたいと思います。

学校閉鎖となる場合 5月6日(水)までにクラス連絡網で連絡し、ホームページに詳細を掲載致します。

その判断の基準として、首都圏の病院で感染者を1名確認した場合、学校閉鎖の協議に入ります。

連休中、日本で感染の疑いのある人が見つかった場合

5月7日(木)から健康観察を開始します。登校前、ご家庭で熱を測り、症状をみてください。熱、症状がある場合は登校させず、経過を見て地域の保健所または相談窓口にご相談ください。その際は、必ず学校にご連絡ください。

28日に配布した豚インフルエンザの対応のプリントをご一読いただき、ご家庭でもご留意ください。予防法や対処法を確認し、冷静に対応していただきたいと思います。保護者の皆様にも個人レベルで行うことのできる対策についてご協力をお願いする次第です。

感染したと思われる場合

感染したと思われる時は、病院を受診する前に**最寄りの保健所に電話**し、「新型インフルエンザ感染の可能性ある」と伝え指示に従ってください。(病院に行くと、感染拡大させてしまいます)

厚生労働省 相談窓口 03-3501-9031 (午前9時~午後9時まで)

夜間、土、日、祝日の場合は東京都保健医療情報センター 03-5272-0303

学校 03-3322-7171

学校ホームページアドレス <http://www.senshu-u-h.ed.jp/>

新型インフルエンザに備えよう

●自分のために

新型インフルエンザにかからないことが第一です！ 次の注意をよく守りましょう。

新型インフルエンザ予防の大切なポイント

- ①外出するときはマスク、帽子、ゴーグルをつける（流行したら、外出しない）
- ②外から帰ったらうがいをする
- ③外から帰ったら手洗いをする（それ以外にも、こまめに手洗いをして、せいけつなタオルで手をふく）
- ④こまめに部屋をそうじしたり、空気を入れ替えたりする
- ⑤部屋の湿度（目安は50～60%）に注意する（加湿器がないときは、濡らしたバスタオルを室内につるしておいても効果的）
- ⑥バランスのよい食事と十分な睡眠に気をつける



●大切な家族のために

家族が新型インフルエンザにかかったら、よく注意しないと、家族がみんな新型インフルエンザに感染してしまいます。そうならないように、必要なことについて家族で話し合っておきましょう。



- ①「かかったかな？」と思ったら、保健所に電話して相談する
(保健所の電話番号を書いておきましょう→)
- ②新型インフルエンザのウイルスを吸い込まないように、家族はみんなマスクをする
- ③患者は一部屋に集まり、新型インフルエンザにかかっていない人は別の部屋で過ごす
(ウイルスがうつらないように、なるべく近寄らない)
- ④部屋の空気をこまめに入れ替える（患者のいる部屋は1時間に数回）
- ⑤患者と同じタオルを使わない
- ⑥こまめに手洗いをする（特に、患者の体や下着などに触った後）
- ⑦氷のうや水枕、アイスノンなどを確認しておく
- ⑧食べ物や日用品の置いてある場所を確認しておく
- ⑨洗濯するときは、新型インフルエンザにかかった人のものと、かかっていない人のものをわける
- ⑩患者には、こまめに水分を補給する（水やスポーツドリンクなどを一日にコップ約12杯以上）
- ⑪下痢のときは湯船に入らず、シャワーを使う。家族と同じバスタオルを使わない



自分や家族にこんな症状、ありませんか？
毎日、欠かさずチェックしましょう。

- | | |
|---|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 熱がある（38℃以上の熱が急に出了） | <input type="checkbox"/> 頭が痛い |
| <input type="checkbox"/> 体がだるい | <input type="checkbox"/> おなかが痛い |
| <input type="checkbox"/> 鼻水が出る | <input type="checkbox"/> のどが痛い |
| <input type="checkbox"/> せきやくしゃみが出る | <input type="checkbox"/> 体の関節が痛い |
| | <input type="checkbox"/> 寒気がする |

豚インフルエンザの対応について

生徒、保護者の皆様へ

平成21年4月28日
専修大学附属高等学校
保健室

メキシコから発生したと言われる豚インフルエンザが現在世界各国にて猛威をふるいつつあります。日本ではまだ感染例の報告はありませんが、発生も時間の問題だと思われま

す。これからゴールデンウィークを控え、ご家族や親戚などで海外に行かれたりする方が近くでいたり、また交通機関等で遠方からの方と接触する機会も増えることから感染の危険性が高まると考えられます。

新インフルエンザの流行が懸念されている中、想定外であった豚インフルエンザですが、予防策は一緒です。今一度、予防法や対処法を確認し、冷静に対応していただきたいと思

1 豚インフルエンザの症状

38 以上の急な発熱で発病しその後、咳、呼吸困難等の症状が認められます。また頭痛、悪寒戦慄、食欲不振、全身倦怠感、下痢、おう吐などの症状がみられることがあります。

2 感染経路

主な感染経路は飛沫感染と考えられています。飛沫感染とは、患者さんの咳やくしゃみのしぶきを吸入することにより起こるものです。また飛沫感染とは別に、接触による感染もあると考えられています。ウイルスは布などに付着しても8時間ほどは生きています。何らかのルートで手に付着しその手で目や鼻を触ることにより感染する場合もあるのではないかと

3 感染を防ぐために

現在のところ根本的な予防方法は確立されていません。しかし感染経路から考えると、以下の基本的なことに十分気をつけることが大切だと思われま

- ・外出を避ける ・外出する時はマスク、帽子などを着用する ・豚肉は充分加熱して食べる
- ・うがい(イソジンのようなうがい薬をするのも良い)、手洗い(指の間、爪の間、手首まで)を適時行う
- ・こまめに部屋を掃除したり、空気を入れ換えたりする ・休養をとり体力の維持に努める

新インフルエンザの薬(タミフル)について

治療法としては、タミフルが有効であると考えられています。購入には医師の処方箋が必要です(インターネット上では、二セ薬が出回っている場合がありますので、注意してください)。

4 感染したと思われる場合は

感染したと思われる時は、病院を受診する前に最寄りの保健所に電話し、「豚インフルエンザ感染の可能性

がある」と伝え指示に従ってください。(病院に行くと、感染拡大させてしまいます)

厚生労働省 相談窓口 03 - 3501 - 9031 (午前9時～午後9時まで)

夜間、土、日、祝日の場合は東京都保健医療情報センター 03 - 5272 - 0303

5 体調が悪い場合は

急激な発熱又は咳などの呼吸器症状がみられる場合は、医療機関に電話でご相談ください。登校等については医療機関の指示に従ってください。

6 学校への連絡

学校においても豚インフルエンザを視野に入れた迅速な対応を行いたいと考えています。何らかの理由で欠席する場合は必ず学校にご連絡ください。また、ご家族などで渡航歴等がありましたらお申し出下さい。豚インフルエンザの流行が懸念される昨今においてもお子様が安全に過ごせますように対応していきたいと考えております。その中で保健調査を行う場合もあるかと思

平成21年4月13日

保護者各位

専修大学附属高等学校
校長 鈴木 高弘
養護教諭 羽生佳代子

新型インフルエンザ対策

新緑の候となりました。保護者の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。平素は本校の教育に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、人類が免疫を持たない新型インフルエンザの発生は「もはや時間の問題」として、各国で対策が進められています。

感染拡大の抑制と社会・経済の破綻防止を目的とした新しい行動計画が示されました。その中で、地域における流行の起点となる学校については、都道府県で1例目の患者が確認された時点で管内を一斉休校とすることなどが盛り込まれました。お子様たちの命を守るための教育や啓発など学校の果たす役割は大きく、対応は重要です。

【本校の取り組み】

新型インフルエンザの最新情報の把握に努め、迅速な対応を行いたいと考えております。発生前の今の時点に正しい情報と知識の啓発に努め、危機意識を持ち、冷静に対応できるよう対策をしていきたいと考えております。その中で保健調査を行う場合もあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願い致します。

今後、本校の行動計画で決まったことや新型インフルエンザについての予防法、注意点、準備するもの等、順次お知らせしていく予定です。

ご家庭でも新インフルエンザ対策として話す機会を持ち、食料品や日用品の備蓄をするなど外出を減らすために対策をしていただきたいと思います。

また、パンフレット『うつらないこと、そしてうつさないこと』を配布しましたので、ご一読ください。